「若者のつながりが拓く未来 - アフリカとの往来から-（TOMONI Africa）」

国際協力機構（JICA）は、2025 年 8 月 20 日、ヨコハマ・グランドインターコンチネンタルホテルにて、第 9 回アフリカ開発会議（TICAD9）テーマ別イベント「若者のつながりが拓く未来 - アフリカとの往来から（TOMONI Africa）」を開催しました。本イベントには、アフリカ渡航の経験をした日本の大学生、ABE イニシアティブ留学生[1]（ガーナ、コートジボワール、ルワンダ）、日本の大学生等を含む 180 人の参加者が若者同士の学びと交流の意義に耳を傾けました。

JICA 小林理事の開会挨拶後、ルワンダ共和国 駐日ルワンダ ムカシネ・マリー・クレール特命全権大使からは、日本とアフリカの若者が相互理解と共通の成長、革新への挑戦を進めることへの思いが語られました。山際大志郎衆議院議員は、自身のアフリカへの渡航経験を振り返り、未来への成長に向けて日本の若い世代のグローバルなアクションへの期待を述べました。

上野 JICA アフリカ部次長による「TOMONI-Africa」の紹介、そして東京大学、上智大学、中央大学の学生達による渡航経験の発表の後、中村 JICA 理事長特別補佐の進行の下、3 大学の学生たちは、現地でしか得られない出会いや学びの魅力から、まずは訪問することの重要性を力強く語りました。また ABE 生は、日本のリーダー等との出会いを通じて様々なことを学んだ自身の経験から、日本の学生に将来日本を担う人材を目指してほしいと大きな期待を寄せました。

最後に、東京大学 林香里理事・副学長が将来を担う若い世代に、日本とアフリカの一層強固な繋がりへの期待を込めて、参加者にエールを送りました。
本イベントは、日本とアフリカの若者が直接出会うことが、互いに学び合い共創を通じた未来の協力関係を築く第一歩となることを確認するものとなりました。

■本イベントの主な登壇者
【開会挨拶】小林広幸 JICA 理事
【来賓挨拶】ムカシネ・マリー・クレール　駐日ルワンダ共和国特命全権大使、
山際大志郎　衆議院議員
【発表者】上野修平 JICA アフリカ部次長
日本の大学：東京大学　原リドワンマハマ氏（他 5 人）、上智大学　長澤里桜氏（他 4 人）、中央大学　増井悠太氏（他 12 名）

---

[1]アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ：African Business Education Initiative for Youth。アフリカの産業人材育成と、日本とアフリカのビジネスを繋ぐ架け橋となる人材の育成を目的に、日本の大学での修士号取得と日本企業等でのインターンシップの機会を提供するプログラム。

ABE イニシアティブ留学生：カムウェジィ・グロリア（ルワンダ共和国）、ジャンゴラン・エゾア・アボチ・ミチェル（コートジボワール共和国）、フェリックス・クワミナ・エジリ・エシェン（ガーナ共和国）
【パネリスト】3 大学の代表者 3 名、ABE 生 3 名（モデレーターは中村俊之 JICA 理事長特別補佐）
【閉会挨拶】東京大学理事・副学長　林香里教授

■写真

■関連する SDGs ゴール：